

T・E・I・B・A・N

Japan classico

vol.17

T・E・I・B・A・N ジャパンクラシコ 滋賀のモノづくり展

2024.1.25thu-28sun/10:00-19:00 [28 日のみ 16:00 まで]

リビングデザインセンター OZONE [新宿パークタワー 1F アトリウム]

会場 = リビングデザインセンター OZONE (〒163-1001 東京都新宿区西新宿 3-7-1)

主催 = 滋賀県 協力 = リビングデザインセンター OZONE

問い合わせ = 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

(〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨 2200-5 TEL:0748-83-8700)

滋
賀
の
モ
ノ
づ
く
り
展

卯山製陶

uzanseitou



陶の器は暮らし中でかかせない道具として生まれてきました。そして暮らしに豊さを演出する役目も担うようになりました。私たちが目指す陶の器は入れられたモノをそっと照らす包容力と道具としての使い勝手をひたむきに考え、使い手とともに成長しつづける器づくりです。

西尾照幸



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 789
TEL:0748-82-0203 FAX:0748-82-3595
<http://www.uzan.jp>

加陶

katou



ガーニンググッズとしてだけでなく、生活を愉しむこと心地よい暮らしを提供することを目的とした「ガーデン」に「プラス」するプラスガーデンです。

加藤康祐



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 1361-4
TEL:0748-82-1466 FAX:0748-82-2000
<https://www.plusgarden.jp>
<https://www.kama-to.jp>

壺新

tsuboshin



「自分らしく毎日の生活を楽しみたい」と考える方々にお気に入りをご提案していきたいと考えています。

森千祐



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 1095
TEL:0748-82-0135 FAX:0748-82-3348
<https://www.tsuboshin-shigaraki.com>

壺八

tsubohachi



信楽の土味を生かし、暮らしの中で必要なお茶の器を制作しています。お茶の時間が少しでも楽しくなればと器作りに励んでいます。

奥田大器



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 1330-2
TEL:0748-82-0186 FAX:0748-82-3483
<https://www.daikinoutsuwa.com>

陶房 準

toubou jun



日々の仕事の中にたくさんの感動があります。その気持ちを形にし、ひとつの作品を作り上げるモノづくりの楽しさがそこにあります。

葛原準子



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 1423-5
TEL:0748-82-1732 FAX:0748-82-3017
<http://www.tobo-jun.jp/>

古谷製陶所

furutaniseitousyo



古谷製陶所では「暮らしに寄り添う」をテーマに食文化や住空間などのライフスタイルに合わせて少しずつ形を変えてお作りしています。素朴で使いやすい器がきっと皆様の暮らしを豊かにすると信じて日々制作しております。

古谷浩一



〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町神山 2397
TEL:0748-82-1041
<https://furutani.handcrafted.jp>

松庄

matsushou



信楽焼の良さは温かみのある土味です。その特徴を活かしテーブルウェアを中心に提案する窯元です。お使いいただく方の小さな幸せになりたいと想っております。

奥田泰央



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 645
TEL:0748-82-0528 FAX:0748-82-1908
<https://www.kamamoto.co.jp/>

丸滋製陶

marushiseitou



毎日の暮らしのための器をつくっています。やきものと社会の繋がりも時代の流れと共に変わってきています。暮らしの中で必要になるということを意識して、やきものづくりに取り組みます。

今井将之



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 953
TEL:0748-82-0033 FAX:0748-82-0313
<http://www.shigaraki-marushi.com>

三彩

sansai



三彩は信楽焼の持つ多彩な表情に魅せられた会社です。今の時代だからこそ映える信楽焼の輝きを、ひとりでも多くの人々にお届けしていきたいと思ひます。

〒529-1811 滋賀県甲賀市信楽町江田 836
TEL:0748-82-3131 FAX:0748-82-2162
<https://www.bunpuku-tonchinkan.com>
MAIL:bunpuku@nike.eonet.ne.jp

上田和弘



昇龍園

shouryuuen



茶農家の長男として生まれ、小さい頃より家族が作業する茶畑や茶工場で遊んでいました。自ら肥料を撒き、自ら収穫し、茶工場作業も自らが行います。

TEIBAN 展ならではの茶の作り手が1杯ずつ丁寧に淹れるお茶を飲みながらお話しする、ひとときの“茶縁”を楽しみに立ち寄っていただければと思います。

服部昭彦



529-1842 滋賀県甲賀市信楽町下明宮 516
TEL:0748-84-0037
MAIL:shou.ryuu.en@gmail.com

忠六苑

tyurokuen



穴窯ならではの自然釉の窯変や炎色の美しさを求めて、日々、土と炎とを対話させています。

古谷剛敏



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 1178
TEL:0748-82-0013 FAX:0748-82-0270
<https://www.instagram.com/churokuen/>

陶器屋

toukiya



信楽では大物陶器の製造が少なくなっている中、当社では大物陶器にこだわり更なる技術の向上を目指し物作りに励んでいます。皆さんの生活が豊かになる陶器を提供していきます。

高原誠治



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 504-1
TEL:0748-82-1008 FAX:0748-82-3325
<https://toukiya.work>
MAIL:info@toukiya.work

炎の味がま

hinomigama



荒々しい土と、激しい炎が作り出す信楽焼を料理に合うことはもちろん使い易さも追及し女性ならではの感性で、うつわを彩り焼き上げます。

松尾あづさ



〒529-1811 滋賀県甲賀市信楽町江田 981-8
TEL:0748-82-3691
<http://shigarakihinomi.com>

麻絲商会

mashisyokai



日本最大の湖“琵琶湖”とその湖の周辺を豊かな山々がめぐるこの土地は麻の生産に適した環境で、麻の製織・加工に欠かせない高い湿度と美しい水に恵まれた近江の地で作り上げた麻織物。この地域で一貫して作り上げているからこそ、よりよい麻織物ができ、そこから麻絲商会の商品へと繋がっているのです。

辻文二郎



〒523-0871 滋賀県東近江市佐生町 338
TEL: 0748-42-2112 FAX: 0748-42-5408
<https://mashi.co.jp>

丸十製陶

marujyuseitou



信楽の土を活かし、シンプルな器を制作しています。シンプルライフに合えばと日々試行錯誤しながら器作りに励んでいます。

北村尚之



〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町神山 499
TEL:0748-82-0258 FAX:0748-82-2518
<https://www.010gama.co.jp>

明山窯

meizangama



暮らしに笑顔を届ける「ものづくり」
私たちは、お客様に笑顔を届ける、土のぬくもり、人のぬくもりを感じるこだわりの商品づくりを通して、私たちを育む産地の発展を願います。

石野伸也



〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 1055-1
TEL:0748-82-8077 FAX:0748-82-2089
<https://www.meizan.co.jp>

山中陶土

yamanakatoudo



山中秀寿



雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ
丈夫ナカラダヲモチ
欲ハナク
決シテ願ハス
イツモツカニワラツテキル
アラユルコトヲ
ジブンノカンジヨウニ入レズニ
ヨクミキシワカリ
今アル技術ト
知博知恵
金ヲササゲテ
傍ニイル
泥クサク
汗クサク
人間クサイ
サイワモノニ
ワタシハナリタイ

〒529-1811 滋賀県甲賀市信楽町江田 257-1
TEL:0748-82-0356 FAX:0748-82-3050
http://www.yamanaka-toudo.com

信楽窯業技術試験場

shigaraki ceramic research institute



信楽窯業技術試験場は、信楽焼業界を中心に窯業技術の研究開発・人材育成・交流発信などの支援を行う滋賀県の試験研究機関です。令和 4 年に試験場設立 95 年を迎え新たな地に新築移転し、「モノ・ヒト・コトづくり」支援を中心に再スタートを切りました。そして、今回の移転に伴う庁舎引越し作業の中、過去の信楽焼、試験場の製品開発のあゆみを目にし、改めて「信楽焼の魅力」「信楽焼とは・・・」について考え直すことができました。

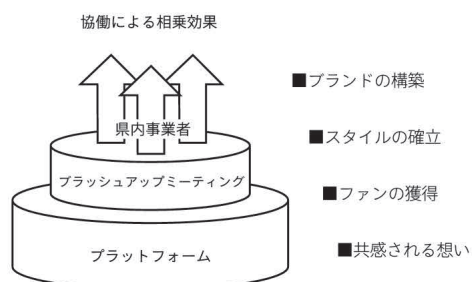
〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勸旨 2200-5
TEL:0748-83-8700 FAX:0748-83-8701
https://www.shiga-irc.go.jp/scri/

しがらきコトづくり

信楽窯業技術試験場では、開かれた試験場として、地域の連携交流と信楽焼の魅力発信により、産地の活性化を目指しています。その中で取り組むコトづくり支援では、しがらきコトづくり研究会を立ち上げ、「学ぶ場」「実行・検証する場」「情報発信する場」の 3 つのプラットフォーム（＝場）で事業を展開しています。新たな価値を生み出すため、また、時代の変化に対応できるよう、常にブラッシュアップを図ります。

協働によるイノベーション

しがらきコトづくり研究会では、従来型の地域ブランドづくりとは異なり、モノありきではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく事業者の取り組み自体を評価する事業を行っています。この取り組みでは、互いがライバルでありながら、協働体でもあります。そして、そのプラットフォームを県が設けることにより社会性が生まれます。行政主導でも民間主導でもない「相互推進型の協働」によるこの取り組みが、参加する事業者のみならず地域や滋賀県全体の活性化につながることを期待しています。



信楽焼とは・・・？

信楽焼は、鎌倉時代に播鉢や種壺など生活用品から始まり、時代の流れに合わせ、火鉢、金属代用品、植木鉢、傘立て、建材、風呂とたくましく変化し今日まで続いています。また、信楽町は、日本最古の湖、琵琶湖の南方に位置します。約 400 万年前、この付近には琵琶湖の原型となる古代湖があり、その湖底に土砂などが堆積し焼き物に適した粘土層ができたと言われています。この粘土層は、古琵琶湖層と呼ばれ、信楽焼の原点ともいえる豊富で良質の地域資源です。

これらのことをもう一度窯元事業者とともに考え、今回は、古琵琶湖層の恵みを大切に自然の素材をそのまま表現した「焼き締め」にこだわった製品を焼き上げ展示を行います。箸置きのような小さなものから食器、花器、傘立て、庭園陶器、建材、陶器風呂と超大物まで、バリエーション豊かな産地として知っていただきたいと思います。

新しく、もしくは改めて信楽焼の魅力を感じて頂ける機会となりましたら大変嬉しく思います。

